

気持ちいいぞ

自然の家の「ゆる」コース

県立大館少年自然の家に去年の秋完成したフィールドワーク大コース、「さるコース」が、この春から利用されています。

小学生向けの遊び場程度だった従来のコースから、中学生をターゲットにグレイドアップして設けられたこのコースには、五月九日に峰浜中学校が初めて挑戦して以来、中学生の団体が八校挑戦しています。八校の中には、大館市内の中学校だけでなく、能代・山本地域の中学校も含まれていて、このコースの利用は広い範囲に及んでいるようです。

「さるコース」は、自然の家を出発して全長約五キロメートルほどの山道を歩き、秋葉山を経由したのち再び自然の家へと戻ってくる環状のもの。一周するのに四時間ほどを要する設定になっています。日常、安全な生活を指導されているせいか自然離れの傾向にある中学生に、自然に溶け込んでスリルや野性を味わってもらおうという意図から、山の地形をそのまま生かしたコースになっています。林を切り開いたり、道を整備したりしたコースではないので、まさに道なき道を踏み分けていくことに

なります。途中、立っているものつらいほどの急な坂に長さ五十メートルの「上昇ロープ」があったり、百メートル続く「下降ロープ」を通過しなければならなかったりと、スリルは満点。ほかにもコース上の数カ所に「さるコース」に由来したタイズが用意されるなど、数々の難所・難問が待ち構えていて、体力だけでなく、知力をも要求されるようになっていきます。

つらい関門が多い一方で、豊かな自然を満喫できるのもこのコースの魅力の一つ。きれいな空気の中で、小鳥のさえずりを聴いたり草花に触れたりしながら、間近な大文字や遥かな大館盆地を眺望できるポイントもたくさんあります。夢中になって山を歩き、コース上

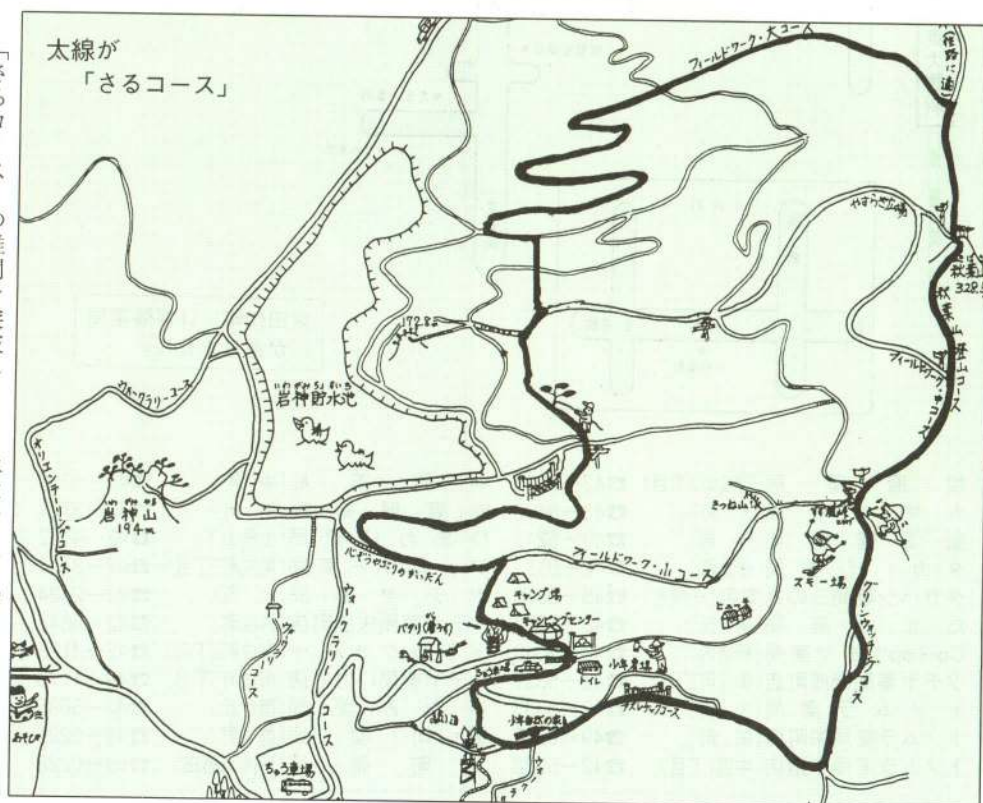
に待つ難関に挑むうちにいつしか生徒たちは、「ここは本気になってかからなければ征服できないだろう」とか、「ここなら安全に通過できそうだ」とか、忘れていた野性のカンを取り戻して、自ら状況判断をする楽しさを体験しているようです。相当に体力を消費するコースですが、一周して自然の家へ戻ってきた生徒たちは、一様に「疲れたけど気持ち良かった」

と笑みを浮かべます。

今年で二十周年を迎える自然の家。畑沢所長は、「地元の方のご協力にはいつも感謝しているんですよ。これからも楽しい施設を目指して創意工夫を重ねていきたいです。今回の『さるコース』開設を一つのきっかけに、皆さんにより楽しく、自然に親しみながら人間として生きるための基礎体験ができる場を提供していければうれしいですね」と話していました。学校単位で、教育の一環として利用されることが多い現状ですが、「個別に親子連れでの利用も歓迎しています。小学校高学年くらいでも挑戦出来るコースですから、どんどん挑戦してみてください」とのこと。一度、野性のカンを目覚めさせてみませんか。



「下降ロープ」は最大の難所?



「さるコース」の難関を突破しつつたどりついた秋葉山の頂で、おいしい空気を胸いっぱい吸い込み、お弁当で腹を満たした後は、俳句を作る課題も待っています。すでに「自然児」と化した(三)チャレンジャーたちの句は、全力で自然と戯れた後の快感が伝わってくるようで、どれもなかなかの味わいがありますね。

- ・秋葉山 空気もいいけど おにぎりも
- ・秋葉山 初夏の香りの風が吹く
- ・山の上 疲れたけれどいい気持ち
- ・秋葉山 神をもおそれぬ下り坂
- ・こんなにも 長いと思わずのぼった